



屋上から
風船200個
飛ばす

川口市安行の老人ホーム

川口市安行の介護老人保健施設「グリーンビレッジ安行」(高瀬通注施設長、入所者150人)で、毎年恒例の「風船飛ばし」があり、オレンジやブルーなど色とりどりの風船200個を3階建ての屋上から大空に放した。

入所者や通所のお年寄りたち約80人が参加。風船一つずつの糸の先には、思い思いの言葉を書いた便箋一枚でアサガオの種1個を包み、小さなビニール袋に入れた。種は入所のお年寄りたちの「園芸

約200個の風船は風に乗って飛んで行った。10月26日、川口市安行(川口昭さん撮影)

2日後

82キロ北の栃木・芳賀町から感謝の返信

倶楽部」が同園の野菜畑で育てた。イベントには、社会体験授業で訪問した近くの市立安行東中学校の生徒たちも参加した。

入所している菅沼カツ子さん(92)は「アサガオの種を一つ包んで、お手紙を書いて黄色い風船を飛ばした。童心に帰り、うれしかった」。リハビリで草加市から通所の川口昭さん(81)は「返事が楽しみです。来年も飛ばせるようにリハビリを頑張る」と話した。

2日後には、栃木県芳賀町の住民から一通の電子メールが同園に届いた。「今朝、趣味の野菜畑を見に行くと、オレンジ色の風船が落ちていました。82キロも飛んできたんですね。アサガオの種は来年の春にまきます。日に日に寒くなってきました。みなさま、お体を大切に。ご自愛を。ご縁に感謝します」。

同施設は戸田市に本部がある戸田中央医科グループ(中村隆俊会長)の施設で、医療法人武蔵野会(中村毅理事長)が運営。入所者150人のほか通所のリハビリで50人が利用している。